

# 令和 7 年度 事 業 報 告

## 1. 事業運営の背景

令和7年度の我が国経済は、賃上げ率が2年連続で5%を上回るなど、「デフレ・コストカット型経済」から、その先にある新たな「成長型経済」に移行する段階まで来ておりましたが、足元の景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心に見られ、令和8年2月末のアメリカ・イスラエルによるイランへの軍事行動をきっかけに、中東情勢を巡る状況が緊迫の度合いを増し、ガソリンなど石油依存の製品の価格高騰が懸念されています。

さらには、潜在成長力が伸び悩み、賃金の伸びは物価上昇に追いつかず、食料品を中心とした物価上昇により、個人消費は力強さを欠いています。

こうした現状に対し政府は、生活の安全保障・物価高への対応、危機管理投資・成長投資による「強い経済」の実現、防衛力と外交力の強化を3つの柱とする「強い経済」を実現する総合経済対策」を迅速かつ着実に執行し、総合経済対策の効果を広く波及させていくとしているところです。

また、令和7年度の全国の新車販売台数は、軽自動車が新型車効果などで増加したものの、登録車が供給不足などで減少し、4年ぶりに前年度実績を下回り、前年度比0・9%減の**453万3769台**（登録車3・5%減の284万5316台、軽自動車3・8%増の168万453台）となりました。

一方、富山県内の新車販売台数は、軽自動車の実績が3年ぶりに増加し、前年度比0・8%増の**4万4799台**（登録車1・2%減の2万6153台、軽自動車3・8%増の1万8646台）となりました。

自動車業界を取り巻く環境は引き続き厳しく、人口減少の中での慢性的な人手不足や、資材・エネルギー価格の高止まり、半導体・部品の供給制約など、依然として多くの懸念材料が積み残されたままの状況となっており、新たなモビリティ社会への一層の取り組みの強化が求められております。

## 2. 事業運営の概要

令和7年度は、令和7年3月12日の令和6年度第3回理事会で承認された事業運営の基本方針と重点事項に基づく事業運営をめざしました。

昨年度に続き、今年度も関係機関・団体の参加を得て、「**T o y a m a まるっとクルマフェスタ2025・第40回自動車なんでも無料相談**」を開催。また、「**とやま環境フェア2025**」にも出展するなどの活動を行ってきました。

さらに、①関係機関との連携の維持強化、②関係団体との連絡協調体制の維持、③令和7年度国・県予算に対する要望事項のとりまとめと関係機関への提出、④自動車の安全確保・安全意識の高揚と夜間の交通事故防止を図るための「蓄光反射リストバンド」を富山

県へ贈呈するとともに、関係機関並びに関係団体等とともに、夏・秋・年末の交通安全運動期間における広報・啓発活動を行いました。

また、環境の保全では、地球温暖化問題がますます顕在化する中、富山県のエコドライブ推進運動や、「デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）」の一環としての「宅配便の再配達削減推進WG」にも参画してきました。

一方で、各種手続きのオンライン化等の影響により、当会議所における印紙・証紙の売り捌き実績による手数料収入は、登録車の継続検査で「自動車保有関係手続きのワンストップサービス（OSS）申請」が開始された平成29年4月以降減少が続いており、引き続き大変厳しい財政状況となっております。

富山県におけるOSS申請の実績は、下記のとおり、継続検査が、登録車、軽自動車とも、全国トップの利用状況となっており、新車のOSS申請も増加する中で、印紙類の売上げに影響が出ています。

〔OSS申請率（令和7年度中の最大値）〕

|      |   |      |       |      |       |
|------|---|------|-------|------|-------|
| 登録車  | … | 新規登録 | 68.0% | 継続検査 | 94.0% |
| 軽自動車 | … | 新規届出 | 87.4% | 継続検査 | 94.2% |

従いまして、令和7年度においても、全体として諸経費の節減に努めるとともに、業務の効率化を図り、窓口利用者の利便の向上に対応してまいりました。

その一方で、組織的には次代に備えるべき過度期となっており、業務の継続性を担保する上から一時的な職員の増員を行いました。

### （１）関係機関との連携の維持強化

北陸信越運輸局富山運輸支局をはじめ富山県及び同自動車税センター、独立行政法人自動車技術総合機構北陸信越検査部富山事務所、軽自動車検査協会富山事務所、並びに、独立行政法人自動車事故対策機構などの関係機関との連携の維持強化を図るとともに、担当部署などと日常的・緊密な連絡の保持に努め、行政の円滑な推進に寄与しました。

### （２）関係団体との連絡協調体制の維持

関係団体全体の必要不可欠な情報の交換や、業界全体として取り組むべき事業の検討を行うための「関係団体事務局代表者会議」については、令和7年4、7、10、12月、令和8年1月の計5回開催しました。

### （３）自動車の安全確保と環境保全に関する公益事業の拡充（詳細別掲）

関係機関・関係団体・会員等と連携を図り、「春・夏・秋・年末の全国交通安全運動」への参加はもとより、公益事業として「たっしゃけ気つけられ運動」、「マナー・チェック・ライトの3アップ運動」、「交通安全チャレンジ1・2・3運動」などの交通安全活動や、自動車点検整備推進活動、不正改造車両追放運動、街頭検査活動へも積極的に参加してきました。

#### （４）自動車の安全確保と環境保全に関する公益事業の拡充（詳細別掲）

関係機関・関係団体・会員等と連携を図り、「春・夏・秋・年末の全国交通安全運動」への参加はもとより、公益事業として「たっしゅけ気つけられ運動」、「マナー・チェック・ライトの３アップ運動」、「交通安全チャレンジ１・２・３運動」などの交通安全活動や、自動車点検整備推進活動、不正改造車両追放運動、街頭検査活動へも積極的に参加してきました。

また、「とやま環境フェア２０２５」に出展すると共に、環境とやま県民会議に参画し、「エコドライブ推進運動」、「３Ｒ運動」に参加。また、宅配便の「再配達防止」のWGに参画し、これらの普及・推進など環境保全に関する啓発活動の展開に努めました。

#### （４）令和８年度国・県予算に対する要望事項のとりまとめと要望（詳細別掲）

当会議所の法税制委員会・公益事業委員会・情報委員会の合同委員会については、８月書面開催により、「国・県予算に対する要望事項」について、自動車関係諸税の簡素化・軽減など１０の要望事項をとりまとめ、関係機関へ要望しました。

#### （５）交通事故被害者の援護等

交通事故被害者を援護するため、例年通り独立行政法人自動車事故対策機構富山支所を通じて、公益財団法人交通遺児等育成基金に対して５万円を贈呈しました。

### ３．窓口取扱い業務

令和７年度の窓口取扱い業務にかかる各印紙・証紙の売上げ実績については、令和７年９月の富山県税証紙の廃止の影響もあり、引き続きＯＳＳ申請への移行とインターネット払いの進行で全体に減少しました。

重量税印紙については、令和５年度の▲２３．０％を底に減少率が小さくなってきていましたが、令和７年度においては３月分の実績が減少して▲７．２％となりました。

※各年度の印紙売上げ実績

（単位：千円）

| 取扱い業務  | ７年度売上高    | ６年度売上高    | 前年度比<br>（％） |
|--------|-----------|-----------|-------------|
| 検査登録印紙 | ２０３，４１３   | ２１０，９４４   | ９６．４        |
| 審査証紙   | １０３，７９２   | １０６，３８７   | ９７．６        |
| 重量税印紙  | ２，２５７，６９０ | ２，４３３，４０２ | ９２．８        |
| 合 計    | ２，５６４，８９５ | ２，７５０，７３３ | ９３．２        |
| 富山県税証紙 | １，１３７，９１３ | １，２８７，２０２ | ８８．４        |

※令和７年度分の富山県税証紙の取扱いについては令和７年９月分までで、  
１０月以降は県税収納額の実績を加算して計上

#### 4. 庶務事項

令和8年3月31日現在、会員数は27名、役員数は18名で、令和7年度中に会社合併により会員1名が減員となりました。

事務局の役職員数は12名で、前年度に比べ1名の増員となりました。

##### (1) 会員数（令和8年3月31日現在：会員名簿別掲）

会員数 27名（期中1社退会）

##### (2) 会員並びに代表者及び役職の変更

| 会 員 名        | 新             | 旧             | 変更月日         |
|--------------|---------------|---------------|--------------|
| 富山県二輪車普及安全協会 | 会長<br>瀬 川 比呂昌 | 会長<br>西 口 幸 介 | R7.<br>4. 1  |
| 富山日産自動車株式会社  | 合併により退会       |               | R8.<br>3. 31 |

##### (3) 役員数（令和8年3月31日現在：役員名簿別掲）

理 事 15名（期中1名減員）

監 事 2名（期中1名減員、1名増員）

##### (4) 事務局（令和8年3月31日現在）

専務理事 1名

常務理事 0名

職 員 11名（うち、継続雇用1名、嘱託2名）

期中、職員1名減員、継続雇用1名・嘱託1名、計2名増員

##### (5) 登記事項

令和 7年 7月 9日 「役員の変更に関する事項」の登記

##### (6) 報告事項（なし）

#### 5. 総会・理事会・監事会の開催等

##### (1) 令和7年度定時総会

日 時 令和 7年 6月17日（火）

場 所 富山市桜橋通り2-28 ホテルグランテラス富山 会議室

会員総数 28名

出席会員数 19名

委任状提出者 9名

議 題

第1号議案 令和6年度事業報告及び決算報告について

第2号議案 役員（監事）の補充選任（案）について

以上、いずれも原案どおり承認されました。

## （2）理事会

### ① 第1回理事会

日 時 令和 7年 6月 4日（水）

場 所 富山市新庄町字馬場24番地の2 富山県自動車会館 第1研修室

理事総数 16名

出席理事数 11名

議 題

第1号議案 令和6年度事業報告（案）及び決算報告（案）について

第2号議案 役員の補充選任（案）について

第3号議案 令和7年度定時総会の日程及び提出議案について

以上、いずれも原案どおり承認されました。

### ② 第2回理事会

日 時 令和 8年 3月12日（木）

場 所 富山市新庄町字馬場24番地の2 富山県自動車会館 第1研修室

理事総数 16名

出席理事数 10名

議 題

第1号議案 令和7年度事業及び決算の執行状況報告について

第2号議案 事業拡張引当金の取崩しと退職給付引当金の積立てについて

第3号議案 令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

第4号議案 令和8年度定時総会の開催について

以上、いずれも原案どおり承認されました。

## （3）監事会（持ち回り開催）

日 時 令和 7年 5月15日（木）

議 題

- ・令和6年度の業務及び会計並びに公益目的支出計画の実施の状況を明らかにする書類の監査について

以上、各事項とも正確かつ適正なことが確認されました。

## 6. 委員会の開催

### (1) 法税制・公益事業・情報合同委員会

8月に書面により開催し、「令和8年度国・県予算に対する要望書」を策定し、関係機関等に要望しました。

## 7. 陳情・要望活動

### (1) 令和8年度国・県予算に対する要望書の提出

8月に書面により開催した合同（法税制・公益事業・情報）委員会において承認された「令和8年度国・県予算に対する要望書」を、国及び県の関係機関等へ提出しました。

要望内容及び提出先につきましては、7ページから16ページの通りです。

令和 8 年度

## 国・県予算に対する要望書

令和 7 年 8 月 29 日

一般社団法人富山県自動車会議所  
会 長 辻 川



一般社団法人富山県自動車会議所は、運輸業、自動車の販売・整備、自家用自動車の使用等にかかる別紙の諸団体、並びに、企業によって構成されています。

## はじめに

平素は、富山県における自動車関連業界の諸活動とその発展に、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

自動車業界は裾野が広く、その影響は日本経済全体に及びますが、現在、自動車産業は１００年に一度の大変革期のただ中にあると言われております。電動化・自動化の国際的な競争、物流の２０２４年問題に象徴される働き方改革や、公共輸送機関であるバス・タクシー・トラックなどの人流・物流に従事する運転手不足の問題、そして、賃金上昇が物価高騰に追いついていないなどの状況の中での賃金・雇用の問題など、避けては通れない課題が目白押しという状態です。

加えて、２０５０年カーボンニュートラルの実現や、ＤＸ・ＧＸの推進、さらには従来の自動車の枠を超えた「新しいモビリティ社会」の構築に、自動車産業は力を合わせて取り組んでいかなければなりません。

また、県内の住民にとっての大切な移動手段である鉄道、バス、タクシーなどの公共交通機関におきましては、この間の利用者減少に歯止めがかからない中で、事業経営が逼迫する減収が続く、トラック事業においても、各社の経営努力にも拘わらず、物価高騰による燃料をはじめとした諸経費の負担増も加わり、大変厳しい状況が続いているところです。

自動車業界の社会的な責務として、交通安全の確保や地球環境の保全などその取り組むべき課題は山積しております。

特に「税制」については、２０５０年カーボンニュートラル実現を視野に入れながら、２０２６年で期限切れとなるエコカー減税やグリーン化特例など、その後の税体系全体をどうしていくのかが課題となっています。

令和７年度の税制改正大綱では、自動車関連税制について「令和８年度税制改正で結論を得る」とされたところでもあります。

ユーザーの視点にたった税制改正により、自動車関係諸税の簡素化・軽減に向けた抜本的な見直しに期待が集まっております。

このような状況の中で、令和８年度の国・県の予算編成と税制改正にあたりまして、豊かで、安全で、環境に優しい「くるま社会」の実現のため、当自動車会議所として別紙のとおり要望をいたしますので、その実現に向けてご尽力いただきますよう切にお願い申し上げます。

# 要 望 事 項

## 1. 加重で複雑な自動車関係諸税の負担軽減・簡素化

複雑な税体系の中で、自動車ユーザーだけが特別な負担を強いられる状況は変わらず、「税負担の公平」の原則に反し、納得が得られるものとはなっていません。

また、一世帯あたりの自動車保有台数は、交通アクセス等に恵まれない地方ほど多く、より重い税負担を負うことになり、都市と地方の格差拡大を助長するものであります。

「令和7年度税制改正大綱」では、「取得時の負担軽減」および「保有時の税負担のあり方の見直し」という柱を示し、「カーボンニュートラルの実現に積極的に貢献するものにすべく」として、「公平・中立・簡素な課税のあり方について、中長期的な観点から、車体課税・燃料課税を含め総合的に検討し、見直しを行う」との基本的考え方を示しております。

将来のモビリティがもたらす新たな経済的・社会的受益者の広がりを踏まえ、負担軽減・簡素化を前提に、受益と負担の関係を再構築し、自動車ユーザーの納得が得られるよう、税体系の抜本的な見直しが必要です。

合わせて、次の個別要望事項についても、具体的な対応を図られるよう重ねて要望します。

- (1) 自動車税、軽自動車税のグリーン化特例の特例基準の緩和、並びに、適用期間の延長
- (2) エコカー減税並びに自動車重量税の燃費基準緩和と、適用期間の延長
- (3) 軽油引取税の暫定税率の廃止
- (4) 走行距離課税の導入反対
- (5) 一般財源化されている自動車重量税について、道路特定財源としての位置付けを明確化し、道路ネットワークの整備等に用途を限定
- (6) 自動車関係諸税における営自格差の適正化
- (7) バス事業に係る自動車関係諸税について、大幅な負担軽減・簡素化
- (8) 燃料費の高騰による燃費サーチャージ制の貸切・高速バス事業への導入、並びに、燃料価格激変緩和対策事業の拡充
- (9) 中古自動車の環境性能割額について、決定要件を簡素化することで、容易に税額を知ることが出来るよう対応

## 2. 環境改善等に資するインセンティブ(減税及び助成支援)の拡充

- (1) 先進的な安全装備を装着した一定性能を持つ自動車について、購入時の補助金や保有による減税など、その普及のための財政措置を拡充・強化されたい。
- (2) 環境に優れた自動車の普及は、地球温暖化防止と大気汚染防止の観点から重

要であり、「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金（CEV 補助金）」があるものの、この制度は未だ対象車種が少ないなど環境整備が整っていないことから、導入実績が少なく制度の効果が薄いので、環境に優れた自動車（新車・中古車、事業用・自家用問わず）の購入に係る支援策を拡充されたい。

- （３）バス事業における事故防止及び被害軽減を図るため、衝突被害軽減ブレーキ等のＡＳＶ（先進安全装置）装着車・デジタル式運行記録計・ドライブレコーダー・過労運転防止機器等の導入のための支援を拡充していただきたい。
- （４）地域交通のグリーン化に向けた次世代自動車普及促進事業による、燃料電池・電気・天然ガス等のタクシー・バス・トラックの普及に係る補助金を拡充されたい。
- （５）バス・タクシー・トラックなど公共輸送事業における事故防止及び被害軽減を図るため、衝突被害軽減ブレーキ等のＡＳＶ（先進安全装置）装着車・デジタル式運行記録計・ドライブレコーダー・過労運転防止機器等の導入のための支援措置を拡充されたい。
- （６）石油石炭税の「地球温暖化対策のための課税の特例」について、産業や国民生活に密接不可分な公共性の高い事業用バス、トラックに使用される軽油についての補助を拡充されたい。

### ３．道路関係予算の拡充、並びに、道路整備計画の策定とその実現

国においては、現在、今年度末を期間とする「第５次社会資本整備重点計画」により、また、富山県においても「社会資本総合整備計画」により、社会資本の整備が進められております。中でも道路は、国民生活や産業・経済社会を支える最も基本的な社会資本であり、「豊かで活力ある地域社会」と「セーフティーでクリーンな車社会」の実現のためにも、欠かせないものであります。

また、豪雪による道路の通行止めや滞留・渋滞などの事態の発生は、物流面での支障、路線バス・市内電車など公共交通の不通などの事態を招いております。

そのため、安全で快適な道路環境の整備と災害・事故・医療の緊急非常事態等に十分対応できる信頼性の高い道路ネットワークの整備などのため、次の道路関係予算、並びに、道路整備について、その実現を図られるよう要望します。

#### （１）道路関係予算の拡充

- ① 冬期における道路交通確保のための除排雪体制の一層の拡充・強化と、適時適切な道路交通情報の提供体制並びに、燃料供給体制の強化
- ② 高速道路料金等の値下げ・割引の拡充
  - ア．NEXCO3社の料金水準の引下げ
  - イ．車種区分の検討におけるトラック輸送への十分な配慮
  - ウ．NEXCO3社の大口・多頻度割引を、実質 50%割引に拡充
  - エ．NEXCO3社、首都高速、阪神高速における、車渋滞対策等に資する料金・割引制度の設定

- ③ 労働環境改善および交通流動最適化を図る高速道路料金制度の拡充
  - ア. 長距離逓減割引の拡充
  - イ. 深夜割引の拡充
  - ウ. 渋滞対策等に資する料金・割引制度の設定
- ④ 休憩・休息施設、中継物流拠点の整備・拡充
  - ア. 高速道路の SA・PA、道の駅における駐車スペースの整備・拡充
  - イ. 大型車駐車マスの幅の拡大
  - ウ. 高速道路の一時退出を可能とする措置の拡充（NEXCO3社）
  - エ. シャワー施設等、休憩・休息建屋内の施設の充実
  - オ. 中継物流拠点の全国展開による中継輸送の推進

## （２）道路整備計画の策定とその実現

- ① 高速道路ネットワークの整備・充実
  - ア. 「重要物流道路」の指定、指定道路への集中投資
  - イ. 暫定２車線区間の早期４車線化
  - ウ. ミッシングリンクの解消
  - エ. 渋滞対策の推進
  - オ. ダブル連結トラックや自動運転などの推進に資する実施環境整備の推進
- ② 県内の一般国道８号線（バイパス含む）の早期全区間４車線化
- ③ 東海北陸自動車道暫定２車線区間（着工区間含む）の早期４車線化と安全性に優れた中央分離帯の設置等安全対策の推進
- ④ 能越自動車道（高規格幹線道路）の国による管理の一元化と通行料金無料化の推進
- ⑤ 県内道路全般の歩道や自転車レーンの設置並びに拡幅と、冬期における道路交通の確保のための除雪・消雪体制と消雪装置の拡充
- ⑥ 県内主要地方道路の交差点における通行区分帯（右折・左折）の拡充と整備
- ⑦ 県内の老朽化が進む道路施設の長寿命化のための計画的な整備
- ⑧ 高速道路と民間施設を直結する民間施設直結スマートＩＣ制度及び中継拠点の設置やＳＡ・ＰＡの活用による中継輸送の推進
- ⑨ 富山県と長野県を直結する「北アルプス横断道路」の整備

## ４．「2024年問題」解決に向けた支援

バス・タクシーといった公共交通分野や、トラック物流業界において、人手不足が叫ばれるようになって久しい中、2024年4月から、労働時間に関する規制が強化されました。

バス事業をはじめ、タクシー・物流等の運輸業界全体の課題として、「長時間労働」、「低い賃金体系」、「人手不足」が上げられており、その解決のためにも、国、県をはじめ、利用者、事業者を含めた対応が求められており、当面、次の個別要望事項について、具体的な対応を図られるよう要望します。

### （１）バス・タクシー等の運転者不足問題解消に向けた支援

- (2) 標準的な運賃・燃料サーチャージの確実な収受に向けた支援
- (3) 荷主対策の深度化の更なる推進
- (4) 労働生産性の向上や人材確保等に係る支援
  - ① 労働生産性の向上や労働環境改善に向けた支援
  - ② 運転者不足問題解消に向けた「4」系・人材育成に対する支援
  - ③ 特定技能制度による外国人材の活用

## 5. 富山県地域交通戦略による構想実現

富山県においては、令和6年2月20日に、「将来にわたって持続可能な地域交通サービスを確保するため」「富山県地域交通戦略」を策定し、「今後の地域交通のあるべき姿や自治体・県民等が果たすべき役割、そして関係者でともに取り組むべき施策など」をまとめた新たな「地域公共交通計画」が策定され、富山県の地域交通の目指すべき目標や基本的な方向性が示されたところであり、バス・タクシー事業の維持・改善に資する次の施策につき、必要な支援を講じられるよう要望します。

- (1) 地方における生活交通バス路線の維持確保
- (2) 地域におけるバスの活性化及び二次交通整備の取組に対する支援
- (3) 高齢化社会に向けたバリアフリー対応車（ノンステップバス・リフト付きバス）や電気バス、燃料電池バス、最新燃費基準達成車等、環境に優しいバス導入の支援
- (4) バス事業の担い手確保の支援
- (5) 物価高騰、燃料価格高騰対応への支援
- (6) バスターミナルや道路ネットワークの整備の推進を図るとともに、交差点改良等の安全・渋滞対策事業の強化
- (7) 繁華街や観光施設等におけるタクシー・ベイの設置

また、貸切バスについては、観光だけではなく、災害時等において、被災者及びボランティアの輸送等で大変重要なインフラ的役割を果たしておりますが、運転者不足により繁忙期の需要に対応することが困難になっております。

貸切バス事業者は中小企業が中心のため、運転者確保や運転者教育に苦勞しており、採用活動や教育、研修にかかる費用等について支援をいただきたい。また、物価高騰、燃料価格高騰対応についても支援をいただきたい。

## 6. 事故破損車両の修復後の検査制度の導入等

- (1) 車体整備基準や事業場等施設基準の確立を図るため、道路運送車両法第78条の一部を改正し、自動車車体整備事業の認証制度を創設されたい。
- (2) 一定規模以上破損した自動車の安全の確保を図る観点から、事故破損車両の修復後の検査制度を導入されたい。

- (3) 自動車車体整備士による修復を行った車両については、「車体修理記録簿」と「修理保証書」を発行して、修理品質の安全確保を担保する制度の確立と普及を図られたい。

## 7. 自転車損害賠償保険等の周知と加入の促進

平成31年3月に制定された「富山県自転車活用推進条例」による自転車損害賠償保険加入について、努力義務規定とされていますが、近年、自転車に起因する事故が多発しており、死傷者も出ている状況で、道路交通法ではすべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっています。

被害者本人及び被害者家族が事故後も経済的に安心して暮らせるために、保険加入を「努力」ではなく、「義務」規定としていただきたい。

## 8. 安全・安心で豊かな社会作り、ユニバーサル社会の実現

すべての人が暮らしやすい社会の実現に向け、社会資本の整備と交通の整備にユニバーサルデザイン「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」の考え方を踏まえ、円滑な移動と円滑な施設利用を総合的に推進するため、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」により、各市町村が基本構想を策定し、関係者が一体となって取り組むことになっています。

しかしながら、県内市町村において計画を策定しているところは少数であり、同法による計画策定がなされていない市町村に対して、早期に策定されるよう適切に指導されるとともに、取り組む関係者への支援措置を充実されたい。

## 9. 「面的な低炭素地域づくり」をすすめるための環境整備

地球温暖化によるここ数十年の気候変動は、人間の生活や自然の生態系にさまざまな影響を与えて、氷河の融解や海面水位の変化、洪水や干ばつなどの影響、陸上や海の生態系への影響、食料生産や健康など人間への影響が観測され始めています。

令和5年7月、環境省が「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」として「デコ活」を提唱し、富山県においても「デコ活宣言」を行い脱炭素に繋がる取り組みを進められているところです。

その一助としての下記事項について、その実現を図られるよう要望します。

### (1) 自家用自動車のエコドライブの普及啓発

エコドライブに対する認識は浸透しつつあり、実践にあたってもバス、タクシー、トラックの営業用自動車につきましては、着実に取り組みがなされておりますが、マイカーにつきましては、あまり実践がなされていない状況にあります。

現在、富山県ではエコドライブ推進運動が実施されておりますが、環境・安

全・経費削減と大変有効な取り組みでありますので、県民に対する継続的な啓発活動とともに、県民が容易に取り組むことができる環境整備（道路環境、交通環境、オーソライズ、インセンティブなど）を図られたい。

## **（２）「カーボンニュートラル推進事業」の一層の推進**

国・県・市町村の行政、民間など関係者が一堂に会して、情報を共有し、意見交換などができる場を県レベル、又は市町村レベルで設置するとともに、「面的な低炭素地域づくり」が容易に取り組める支援策などの環境整備を図っていただくよう要望します。

## **１０．OSS利用促進策とユーザー負担の軽減策の同時実現**

自動車登録手続に際し求められる自動車保管場所証明申請、各種税申告申請及び自動車登録申請をワンストップで行えるOSS制度が普及することは、ユーザーの負担軽減策にも繋がることから、今後も一層の普及を目指し推進する必要があります。

その推進にあたっては、自動車登録申請に添付資料として求められる「自動車保管場所証明書」について、他の必要書類と同様に、OSS自動車登録申請とは分離して電子申請が行えるよう措置していただきたい。

現在、ユーザーが経費節減目的で「自動車保管場所証明」申請を（窓口において）紙申請で行うと、この段階でOSS申請ができなくなるため、ユーザー自らによる「自動車保管場所証明電子申請」を分離することは、結果としてOSSの利用促進に資することになり得るし、ユーザー負担の軽減にもつながることから、その実現を同時に図られるよう要望します。

以 上

# 一般社団法人富山県自動車会議所 会員名簿

令和7年8月1日現在 28名

| 会 員 名                        | 代 表 者 名         |
|------------------------------|-----------------|
| 公益社団法人 富 山 県 バ ス 協 会         | 会 長 中 田 邦 彦     |
| 富 山 県 タ ク シ ー 協 会            | 会 長 土 田 英 喜     |
| 一般社団法人 富 山 県 ト ラ ッ ク 協 会     | 会 長 高 田 和 夫     |
| 一般社団法人 富山県自家用自動車協会連合会        | 会 長 山 口 昌 広     |
| 富 山 県 自 動 車 販 売 店 協 会        | 会 長 品 川 祐 一 郎   |
| 一般社団法人 富 山 県 自 動 車 整 備 振 興 会 | 会 長 黒 澤 敏       |
| 富 山 県 軽 自 動 車 協 会            | 会 長 浅 生 忠 和     |
| 富山県自動車車体整備協同組合               | 理 事 長 橋 本 雅 雄   |
| 富 山 県 中 古 自 動 車 販 売 協 会      | 会 長 加 藤 直 樹     |
| 富 山 県 レ ン タ カ ー 協 会          | 会 長 品 川 祐 一 郎   |
| 一般財団法人 日本自動車査定協会富山県支所        | 支 所 長 小 林 誠     |
| 一般社団法人 日 本 自 動 車 連 盟 富 山 支 部 | 支 部 長 笹 山 泰 治   |
| 富 山 県 輸 入 自 動 車 販 売 店 協 会    | 会 長 北 川 善 昭     |
| 富 山 県 二 輪 車 普 及 安 全 協 会      | 会 長 瀬 川 比 呂 昌   |
| 富 山 地 方 鉄 道 株 式 会 社          | 社 長 中 田 邦 彦     |
| 加 越 能 バ ス 株 式 会 社            | 社 長 松 井 康 浩     |
| 富 山 交 通 株 式 会 社              | 社 長 土 田 英 喜     |
| 桜 井 交 通 株 式 会 社              | 社 長 神 谷 慶 志 郎   |
| 高 岡 交 通 株 式 会 社              | 社 長 渡 辺 寛 人     |
| 日本通運株式会社北陸支店                 | 部 長 金 岡 賢 一     |
| ト ナ ミ 運 輸 株 式 会 社            | 社 長 高 田 和 夫     |
| 富 山 通 運 株 式 会 社              | 社 長 高 野 美 津 男   |
| 富 山 自 家 用 自 動 車 協 会          | 副 会 長 田 中 洋 一 郎 |
| 富 山 日 産 自 動 車 株 式 会 社        | 社 長 岩 島 達 郎     |
| 富 山 い す ゞ 自 動 車 株 式 会 社      | 社 長 池 田 治 郎     |
| 富 山 日 野 自 動 車 株 式 会 社        | 社 長 小 林 誠       |
| トヨタモビリティ富山株式会社               | 社 長 品 川 祐 一 郎   |
| トヨタカローラ富山株式会社                | 社 長 黒 澤 敏       |

・要望書提出先

|                                    |          |
|------------------------------------|----------|
| 自由民主党富山県支部連合会政務調査会長                | 川島 国 殿   |
| 北陸信越運輸局長                           | 佐橋 真人 殿  |
| 北陸信越運輸局富山運輸支局長                     | 小松 美保子 殿 |
| 富山税務署長                             | 鈴木 高之 殿  |
| 北陸地方整備局富山河川国道事務所長                  | 中谷 洋明 殿  |
| 富山県知事                              | 新田 八朗 殿  |
| 富山県議会議長                            | 武田 慎一 殿  |
| 富山県警察本部長                           | 高木 正人 殿  |
| 中日本高速道路株式会社金沢支社<br>富山保全・サービスセンター所長 | 恩田 雅也 殿  |

・要望書提出日

令和 7 年 8 月 2 9 日

## 8. 公益事業活動

### (1) 交通安全活動

①富山県自動車点検整備推進協議会、②不正改造車両追放連絡協議会、③富山県交通対策協議会及び同幹事会、④富山県交通安全チャレンジ1・2・3運動実行委員会、⑤富山県高速道路交通安全協議会等の一員として、交通安全計画の推進に努めるとともに、関係団体と連携して新聞、リーフレットなどによる啓発活動を実施して、交通安全の確保に努めました。

#### ①「交通安全運動」期間中の活動

「春の全国交通安全運動」、「夏の交通安全県民運動」、「交通安全チャレンジ1・2・3運動」、「秋の全国交通安全運動」等の期間を定めた運動と共に、「交通安全県民の日」、「マナー・チェック・ライトの3アップ運動」等の年間を通した運動のポスター、リーフレット等の関係団体への配布、会議所窓口における掲示、配布などの啓発活動を実施しました。

#### ②交通安全啓発用品の贈呈

「春の全国交通安全運動」の開始に際して、4月4日(金)富山県庁前広場で行われた特別行事において、会員3団体（自動車販売店協会、自動車整備振興会、軽自動車協会）と合同で、交通安全意識の高揚と、夜間の交通事故防止を図るための蓄光反射リストバンド3,400個を富山県へ贈呈しました。



#### ③自動車点検整備推進活動

例年、「夏の全国交通安全運動」期間中に実施している自動車点検整備推進活動を、7月16日(水)北陸自動車道上り線の有磯海サービスエリアにおいて、富山県自動車点検整備推進協議会の一員として参加し、点検整備の重要性などについての普及啓発に努めました。

### (2) 環境保全活動

富山県の「環境とやま県民会議」、「エコドライブとやま推進協議会」、及び、「とやま環境フェア2025実行委員会」等の一員として活動するとともに、環境ポスターの掲示、リーフレット等の配布などを行い、環境保全に関する普及・啓発に努めました。

## ①エコドライブ運動

富山県並びに（公財）とやま環境財団のご支援を得て、エコドライブの普及啓発のための、「マメにエコドライブしよう」、「マメにエコドライブしています」のマグネット式ステッカーなどを活用した、通年の「マメにエコドライブしよう」キャンペーンを展開するとともに、「エコドライブとやま推進協議会」の会長団体として「エコドライブの推進・支援に取り組みました。

また、富山県が実施する「エコドライブ宣言運動」の普及啓発にも努めました。



## ②「とやま環境フェア2025」へ参加～エコドライブの大切さをアピール～

10月11日(土)・12日(日)の両日、高岡テクノドームで開催された「とやま環境フェア2025」に、北陸信越運輸局と共同で出展しました。

「水と緑に恵まれた幸せ富山をめざして～はじめよう！富山デコ活アクション！～」と題して開催された今回の環境フェアは、当会議所も実行委員となっている同フェア開催委員会の主催で、県内外から58のグループ、団体が出展。

クイックアームとクイックステップで自らの敏捷性や加齢による体力の衰えを実感してもらいながら、アンケートで、自動車による環境への負荷の軽減や交通事故の減少に繋がる「エコドライブ」の大切さを確認してもらいました。



また、ディーラー4社のご協力でエコに繋がる次世代自動車の展示も行い、皆さん、興味津々でご覧になっていました。

フェアには2日間で10,300人の入場があり、クイックアームとステップを合わせ468人が体験するなど、楽しくにぎやかな取り組みとなりました。

## (3)「Toyama まるっとクルマフェスタ2025～第40回自動車なんでも無料相談」を開催 ～800名の来場者で賑わう～

一般の方が、日ごろ抱えている、登録手のワンストップサービスや税金、検査・整備のことや交通事故など、自動車に関する疑問点及び苦情について、無料で相談を受け、それらの不平・不満を解消するとともに、自動車関係業界の魅力と役割について、広くPRすることを目的に、10月19日、富山運輸支局構内において「第40回自動車なんでも無料相談」を開催しました。

今年も、当会議所会員の自動車関係団体、北陸信越運輸局



富山運輸支局等の関係機関で構成する「Toyama まるっとクルマフェスタ2025実行委員会」を結成し、新たな取り組みとして、①子供用つなぎを着用しての自動車整備士体験、②路線バスとして実際に運行している「青バス」の展示・試乗・運転手体験などの新しいイベントも実施し、会場は今年も約800名の来場者で賑わいました。



県内の各ディーラーの協力で、スポーツカーやキャンピングカーなど14台の最新車も展示。



自動車事故対策機構（NASVA）の衝突実験車両の展示や、着ぐるみ「ナスバちゃん」と新キャラ「子グマのマー君」も登場し、自動車事故防止・被害者支援の啓発・広報にも

努めました。

また、マイカー無料点検や、普段は見られない車検場の見学など、広く車に関心をもっていただけるような盛りだくさんの内容で家族連れの来場者も目立ち、子どもたちも車に関心を持ってくれたのではないかと思います。



## 9. 関係団体事務局代表者連絡会議の開催

（１）日 時 令和 7年 4月18日（金）

場 所 富山運輸支局 1階会議室

- 議 題
- ① 国土交通省等の人事異動について
  - ② 自動車関係団体代表者名簿並びに緊急連絡先一覧表
  - ③ 令和7年度の各団体総会等の開催予定について
  - ④ Toyama まるっとクルマフェスタ2025「第40回自動車なんでも無料相談」の開催について
  - ⑤ 令和7年度「富山県自動車関係団体役職員録」の作成について

（２）日 時 令和 7年 7月15日（火）

場 所 富山運輸支局 1階会議室

- 議 題
- ① 関係団体の総会等を終えて
  - ② Toyama まるっとクルマフェスタ2025「第40回自動車なんでも無料相談」の開催について
  - ③ 「とやま環境フェア2025」への出展について
  - ④ 令和8年度国・県予算に対する要望書について

- (3) 日 時 令和 7 年 10 月 8 日 (水)  
場 所 富山運輸支局 1 階会議室  
議 題 ① 「とやま環境フェア2025」への出展について  
② Toyama まるっとクルマフェスタ 2025「第40回自動車な  
んでも無料相談」の開催について  
③ 令和8年度国・県予算に対する要望書について  
④ 令和7年度自動車関係団体窓口業務打合せ会議の開催について

- (4) 日 時 令和 7 年 12 月 16 日 (火)  
場 所 ミライザカ  
議 題 ① 令和7年の活動のまとめについて

- (5) 日 時 令和 8 年 1 月 13 日 (火)  
場 所 富山運輸支局 1 階会議室  
議 題 ① 令和7年度自動車関係団体窓口業務打合せ会議の開催について  
② 令和8年度の各団体総会等の開催予定について  
③ 令和8年度における各種イベントの開催について

## 10. 「Toyama まるっとクルマフェスタ2025」実行委員会

### (1) 実行委員会結成準備会

- 日 時 令和 7 年 5 月 19 日 (月)  
場 所 富山運輸支局 1 階 会議室  
議 題 ① 「Toyama まるっとクルマフェスタ 2024」の開催の経過と  
実施結果について  
② 「Toyama まるっとクルマフェスタ 2025」開催にあたって  
③ 実行委員会の結成  
④ 当面の具体的活動について

### (2) 第1回実行委員会

- 日 時 令和 7 年 6 月 5 日 (木)  
場 所 富山運輸支局 1 階 会議室  
議 題 ① 「Toyama まるっとクルマフェスタ 2025」実行委員会の規  
約案について  
② 「Toyama まるっとクルマフェスタ 2025」開催にあたって

(3) 幹事等小委員会

日 時 令和 7年 7月28日(月)  
場 所 富山運輸支局 1階 会議室  
議 題 ① 実施事業及びレイアウトについて  
② 役割分担について  
③ リーフレット・景品、備品等の準備について  
④ 広報について  
⑤ 予算(案)

(4) 第2回実行委員会

日 時 令和 7年 9月18日(木)  
場 所 富山運輸支局 1階 会議室  
議 題 ① 「Toyama まるっとクルマフェスタ 2025」実施要領(案)  
について

(5) 第3回実行委員会

日 時 令和 7年11月13日(木)  
場 所 富山運輸支局 1階 会議室  
議 題 ① 「Toyama まるっとクルマフェスタ 2025」の実施及び決算  
報告について

## 1 1. 上部団体の総会・理事会等

(1) 一般社団法人日本自動車会議所

① 第91回定時総会

日 時 令和 7年 6月10日(火)  
場 所 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 経団連ホール  
議案審議

第1号議案 2024年度事業実績・2025年度事業計画

第2号議案 2024年度決算・2025年度予算

第3号議案 理事・監事選任

② 第113回全国自動車会議所専務理事会

日 時 令和 7年10月30日(木)~31日(金)  
場 所 東京都港区芝浦1-3-10 チサンホテル浜松町  
議 題

1. 日本自動車会議所 活動報告
2. 課題、情報共有
3. 事務局からの伝達事項

#### 4. スーパー耐久最終戦について

#### ③ 会員研修会《リモート》

##### i 第312回

日 時 令和 7年12月11日（火）

テ ー マ 2026年自動車産業の展望～BEV／ソフトウェアディファインド  
・ビークル（SDV）への進化を踏まえて～

##### ii 第313回

日 時 令和 8年 3月27日（金）

テ ー マ 自動運転とMaaS

### （2）全国自動車検査登録印紙売捌人協議会

#### ① 第65回通常総会

日 時 令和 7年 6月19日（木）

会 場 東京都港区高輪4-10-30 品川プリンスホテル

#### 審議事項

第1号議案 令和6年度事業報告（案）及び令和6年度収支計算書（案）

第2号議案 令和7年度事業計画（案）

第3号議案 会費の額及び徴収方法（案）及び令和7年度収支予算（案）

第4号議案 役員の改選（案）

第5号議案 定款の一部改正（案）

## 12. その他の会議・行事・活動等

### （1）定例連絡会議（富山運輸支局主催）

#### ① 日 時 令和 7年 4月18日（金）

場 所 富山運輸支局 1階会議室

主な議題 i 4月1日付け人事異動について

ii 記録事務代行の検査標章の受取等について

iii スキャンツール補助事業について

#### ② 日 時 令和 7年 7月15日（火）

場 所 富山運輸支局 1階会議室

主な議題 i 検査場の修繕工事について

ii 全国軽自動車協会における流通確認業務サービスのシステム運用  
の開始について

#### ③ 日 時 令和 7年10月 8日（水）

場 所 富山運輸支局 1階会議室

主な議題 i 富山運輸支局長表彰式について

ii 交通空白関連予算について

- iii とやま環境フェアについて
- iv トラック・物流 G メンの体制強化等について

- ④ 日 時 令和 8 年 1 月 13 日 (火)
- 場 所 富山運輸支局 1 階会議室
- 主な議題
- i 令和 8 年栄典事務日程について
  - ii 年末年始の安全輸送総点検について
  - iii 自動車の登録・検査手続の D X 化について
  - iv 自動車検査証記録事項配布終了のお知らせ
  - v 行政書士法の一部を改正する法律の施行について

## (2) 交通安全関係会議・行事・活動

- |     |           |                                |
|-----|-----------|--------------------------------|
| 7 年 | 4 月 4 日   | 春の全国交通安全運動における特別行事             |
|     | 15 日      | 「交通安全チャレンジ 1・2・3 運動」第 1 回実行委員会 |
|     | 5 月 22 日  | 富山県高速道路交通安全協議会通常総会             |
|     | 7 月 16 日  | 高速安協「夏の交通安全県民運動」(北陸自動車道有磯海 SA) |
|     | 8 月 1 日   | 富山県交通対策協議会幹事会(書面協議)            |
|     | 9 月 3 日   | 交通安全フォーラム・富山県交通安全県民大会          |
|     | 10 月 29 日 | 富山県交通対策協議会幹事会(書面協議)            |
|     | 12 月 19 日 | 富山県交通対策協議会幹事会(書面協議)            |
| 8 年 | 2 月 2 日   | 「交通安全チャレンジ 1・2・3 運動」第 2 回実行委員会 |
|     | 6 日       | 富山県交通対策協議会委員会(書面協議)            |
|     | 13 日      | 富山県交通対策協議会幹事会(書面協議)            |
|     | 3 月 16 日  | 「交通安全チャレンジ 1・2・3 運動」会計監査       |

## (3) 環境関係会議・行事・活動

- |     |                |                          |
|-----|----------------|--------------------------|
| 7 年 | 4 月 23 日       | 富山県県土美化推進県民会議総会          |
|     | 7 月 10 日       | とやま環境フェア 2025 第 1 回実行委員会 |
|     | 14 日           | エコドライブとやま推進協議会           |
|     | 8 月 19 日       | 環境とやま県民会議第 1 回幹事会(書面開催)  |
|     | 22 日           | とやま環境フェア 2025 第 2 回実行委員会 |
|     | 9 月 4 日        | 環境とやま県民会議総会(書面開催)        |
|     | 5 日            | 第 8 回宅急便の再配達削減推進 WG      |
|     | 10 月 11 日～12 日 | とやま環境フェア 2025            |
|     | 12 月 18 日      | とやま環境フェア 2025 第 3 回実行委員会 |
| 8 年 | 3 月 5 日        | 第 9 回宅急便の再配達削減推進 WG      |
|     | 16 日           | 富山県県土美化推進県民会議幹事会(書面開催)   |

#### (4) その他の会議・行事・活動

|     |         |                               |
|-----|---------|-------------------------------|
| 7年  | 4月22日   | (公社) 富山県バス協会監事会               |
|     | 5月 9日   | 富山自家用自動車協会評議員会                |
|     | 14日     | (公社) 富山県バス協会理事会               |
|     | 22日     | (一社) 富山県自家用自動車協会連合会定時総会       |
|     | 23日     | 富山県自動車車体整備協同組合通常総会            |
|     | //      | 富山県中古自動車販売協会通常総会              |
|     | 27日     | (一社) 富山県自動車整備振興会通常総会          |
|     | 30日     | (公社) 富山県バス協会定時総会              |
| 6月  | 2日      | 富山県タクシー協会通常総会及び表彰式            |
|     | 9日      | (公財) 富山県暴力追放運動推進センター第1回評議員会   |
|     | 12日     | 富山県軽自動車協会通常総会                 |
|     | 16日     | 第63回富山県トラック運送事業者大会            |
| 7月  | 11日     | (一社) 日本自動車連盟富山支部第1回運営委員会      |
|     | 23日     | 富山県道路整備促進協会第72回通常総会           |
|     | 28日     | 富山県自動車点検整備推進協議会               |
| 8月  | 26日     | 北陸3県バス協会連絡協議会                 |
|     | 28日     | 第1回富山県道路安全・円滑化検討委員会           |
| 9月  | 25日     | (一社) 日本自動車連盟富山支部懇親会           |
|     | 26日~27日 | 富山県自動車整備商工組合まつり               |
| 10月 | 19日     | Toyama まるっとクルマフェスタ 2025       |
|     | 31日     | ジャパンモビリティショー2025              |
| 11月 | 6日      | 富山県中古自動車査定士技能コンテスト            |
|     | 10日     | 第34回暴力追放富山県民大会                |
|     | 11日     | 富山運輸支局長表彰式                    |
|     | 19日     | 公共輸送機関利用者保護推進員会議              |
| 8年  | 1月19日   | 自動車関係団体窓口業務打合せ会議              |
|     | 22日     | (公社) 富山県バス協会理事会               |
|     | //      | 富山県自動車販売店協会「第63回優良職員表彰式」      |
| 2月  | 6日      | (一社) 富山県自動車整備振興会第2回理事会        |
|     | 19日     | (一社) 日本自動車連盟富山支部感謝の会          |
|     | 25日     | (公財) 富山県暴力追放運動推進センター第2回評議員会   |
| 3月  | 9日      | RICPA カードの入金窓口業務に関する説明会(リモート) |
|     | 26日     | (公社) 富山県バス協会理事会               |

### 1 3. 刊行物等の作成又は配布

|                               |                   |
|-------------------------------|-------------------|
| (1) 自動車会議所ニュース                | 会員団体・各社へメールにて配信   |
| (2) 自賠責保険・自賠責共済のご案内 パンフレット    | 30部               |
| (3) 令和7年7月1日現在・富山県自動車関係団体役職員録 | メール配信             |
| (4) とやま環境フェア2025チラシ           | 45枚               |
| (5) 交通安全運動関係                  |                   |
| ①春の全国交通安全運動                   | ポスター215枚、要綱550冊   |
| ②みんなですすめる交通安全県民運動             | ポスター255枚          |
| ③たっしゅけ気づけられえ運動(6月)            | チラシ550枚           |
| ④交通安全チャレンジ1・2・3運動             | ポスター255枚、申込用紙550枚 |
| ⑤夏の交通安全県民運動                   | ポスター300枚、要綱550冊   |
| ⑥秋の全国交通安全運動                   | ポスター215枚、要綱550冊   |
| ⑦たっしゅけ気づけられえ運動(10月)           | ポスター255枚、チラシ550枚  |
| ⑧年末の交通安全県民運動                  | ポスター300枚、要綱550冊   |